

学校名 熊谷市立長井小学校
所在地 熊谷市上根358番地
電話 048-588-1351



1 本校の概要

本校は、創立132年の歴史と伝統を有し、地域に支えられた学校である。たくさんの保護者に参加・協力を得て学校づくりを支援していただいている。このような地域基盤の下、児童318名は、明るく素直に育っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 長井小学校読書カード30枚以上

(2) 実践の概要

読書月間を年2回設け、児童の読書への関心を深め、進んで読書に親しめることをねらっている。

また、1年間に30冊以上の本を読み、全児童が読書カードに記入をし、目標達成の見える化を実践している。

ア あじさい読書月間

- ・ 期日 平成30年6月12日～7月11日
- ・ 取組 朝の読書タイム
図書袋の活用
担任や担任外による読み聞かせ
おはなしボランティア「泉」の読み聞かせ
「しおり」の作成
熊谷市おすすめ本「心のたから」紹介
図書委員会による低学年への読み聞かせ

イ もみじ読書月間

- ・ 期日 平成30年10月29日～11月28日
- ・ 取組 朝の読書タイム
図書袋の活用
担任や担任外による読み聞かせ
「読書2列ビンゴカード」への取組
「読書貯金カード」の取組調査
おはなしボランティア「泉」の読み聞かせ
図書委員会による低学年への読み聞かせ

- ウ 「読書を30冊以上します」
(長井小9この取組より)

児童が本を読み終えた日と本の名前を、読書貯金カードに記入する。そのカードには、「熊谷市おすすめ本100冊～心のたから」各学年別に「長井小・おすすめ図書」と一緒にファイルし、本を選ぶ際の参考にさせるとともに、児童に読ませたい本を紹介している。また、30冊読めた児童には、校長先生からの賞状が、一人一人に渡される。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 全児童が1年間に最低30冊の本を読むことができ、読書量を増やせた。また、時間があれば、本を読むのが当たり前ようになった。
- イ いろいろな本を、いろいろな形で紹介することで、児童の読む本の偏りが改善された。

(2) 課題

- ア 調べたいことについて、本を活用して調べる活動が足りなかった。すぐに、インターネットに頼る傾向にあったので、図書室の本で、検索できるような手立てを講じていきたい。
- イ 学校の図書室だけでなく、市内にある公共の図書館を利用するように、保護者も巻き込んでいくことがなかなかできなかったため、懇談会や学年通信などを通して、啓発できるようにしたい。

(3) おわりに

学童期に本に親しむことは、文章読解力を向上させるだけでなく、全ての学習の基礎になるものと考えられる。自ら学ぼうとする姿勢を身に付けさせるためにも、読書に親しむことの大切さを機会を見つけ、児童に伝えていくことが必要だと思われる。